

三宅やすし後援会通信 風 かせ 第34号

目次

介護人材確保について……………1
第214回8月通常会議……………2
8月通常会議のトピックス ……3
主な活動……………4
市政報告・ 出前講座のお知らせ……………4

◆介護人材確保について

北上市では、平成26年12月の調査によると、介護福祉士が116人不足していることから、市内の介護福祉士養成学校入学者へ月額4万円を2年間補助する「市介護人材養成事業日補助金」を創設する計画を立てました。平成29年度から予算化の見通しですが、その対象者は、市内在住かつ市内高校出身者で、卒業後も市内の介護施設や障がい者支援事業所などへ就職を希望する方です。

北上市も高齢化に伴い、要介護認定者や認知症高齢者が増加しておりますが、介護施設などの職員は就職後3年以内で34.5%も離職している点と、高校新卒者で介護職を目指す若者が減少している点が課題となっています。

市内には、専修大付属福祉教育専門学校がありますが、福祉介護科1学年の定員50名に対し、入学者は平成25年度には41名だったものの、平成27年度には16名、平成28年度には20名と大きく減少しています。更に、過去3年間の同校入学者のうち、市内の高校出身者は35.5%、卒業して市内の介護施設へ就職した者は45.2%と半数以下となっています。

介護人材の確保策として、平成27年度には、既に市内の介護施設に就職した新卒者が一般の奨学金を返還する場合、全額または一部を5年間補填する制度を創設しており、これと今回の制度を合わせると最大7万円程を修学費に充てる事が可能となり、介護職を目指す若者を増やそうという制度が更に充実されます。

しかし、介護施設等をめぐる状況は厳しく、人材不足だけでなく、建設資材の高騰などから新規の施設建設を断念せざるをえなかったり、今年にはグループホームが廃業に追い込まれたりしています。

また市では、これとは別に、介護職に限らず一般の学生向けとして、返還不要の「給付型奨学金制度」の検討を進めていましたが、この制度は国でも同様の動きがあることから、国の動向を見極めてからの制度設計をする事にしたようです。

北上市は誘致企業を中心に人手不足と言われていますが、求職者も大勢居ます。求人職種と求職者のマッチングが上手く行ってない為で、学生のころからの職業意識の醸成、いわゆるキャリア教育の充実が重要となってきます。例えば、小学生を対象として、市内民間団体が実施している「鬼っジョブ～北上おしごとパーク」などが、ますます必要とされてくると思われます。



相去地区敬老会にて

第214回8月通常会議

国体との日程調整の都合から、例年9月に開催される通常会議を、少し早めて8月から開催しました。三宅やすしは一般質問を行いませんでしたので、同じ会派の議員の質問から気になる項目を取り上げます。

学校給食センターについて

北上市内の学校給食センターは、北上流通センターの「北部学校給食センター」、黒沢尻東小学校裏の「中央学校給食センター」、藤根地区交流センター隣の「西部学校給食センター」の3ヶ所があり、それぞれ約3,000食の提供能力があります。

このうち、「中央学校給食センター」の老朽化による建て替えが検討されており、今回の一般質問への答弁で、その概要が示されました。以下、その要約です。

質問 中央学校給食センターの建替時期、場所、規模は？

答弁 H32/4の開設を目指して、オフィスアルカディア内に移設新築を見込んでいる。調理能力は4,000食規模を予定。

質問 4,000食規模という事は、いずれ建て替えが必要な「北部学校給食センター」の分も統合する事になるのか。

答弁 児童が毎年100人前後も減少している。その減少を織り込んで、北部給食センターを廃止した場合に、その分を賄える能力を予定している。

質問 一食炊飯方式は改善されるのか。

答弁 中央の新築に合わせて、北部についても一食炊飯方式は廃止し、食缶炊飯(大釜で炊いて、保温缶に入れて運搬する)方式とする予定である。



一食炊飯は、配膳の手間が無いものの、炊飯後の蒸気が水滴となって、ご飯がベチャベチャになる事が多い為、改善が望まれていた。

フィルム・コミッションについて

以前から、北上市に「フィルム・コミッション」の設立を、会派としても要望してきました。また、一般質問でも何度か取り上げられ、観光コンベンション協会内にその機能を持たせたい、という答弁までありましたが、いまだに活動されていません。そこで、今回はその後の経過や、実際の事例についての質問がありました。以下、その要約です。

質問 第39回日本アカデミー賞 最優秀作品賞「海街ダイアリー」のロケ地の一つとして、北上観光コンベンション協会に問い合わせがあったようだが、人が居ないと断り、結局花巻の鉛温泉でロケをしたそうだが、この情報はつかんでいるか。

答弁 全く知らなかった、協会からも連絡は無かった。

質問 このロケ地候補を逃した原因は何と考えているか。

答弁 ロケ地の受け皿が無かった事が原因の一つではないかと推測している。この受皿となる、フィルム・コミッションは民間の機運の盛り上がりが必要と考えている。

フィルム・コミッションとは、映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための支援を行う非営利公的機関。

民間では出来ないため、答弁の「民間の機運の盛り上がりが必要」には少し疑問が残ります。



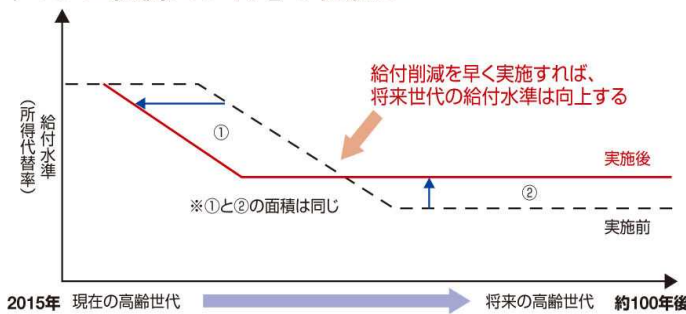
2016/3に最優秀作品賞受賞

8月通常会議のトピックス

今議会では、例年行われる決算審議は行われず、国体終了後の11月に行われます。そこで今回、議論が集中した議案等について解説します。

年金制度について

「マクロ経済スライド」の仕組み



公的年金の支給額を決める際、従来は、物価や賃金の動向を反映させて支給額を決めてきたが（物価スライド）、少子高齢化の進展（現役世代の減少、高齢者の長寿命化）により、この方式だけでは対応しきれなくなった。そこで現役世代と受給世代のバランスを確保するためのマクロ的な仕組みとして、給付水準抑制のために導入された。具体的には、賃金や物価の伸びからスライド調整率を差し引くことで計算される。少なくとも5年に1度のペースで給付水準を検証し、スライド調整率を決定する。ただし、賃金や物価の伸びがない、いわゆるデフレ経済下ではマクロ経済スライドは適用せず、特例水準での年金支給を続ける。デフレ脱却の判断により、2015年度に初めて発動された。

「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願」が出され、教育民生常任委員会では4つの項目について個別に審議し、賛成多数ですべて採択され、国へ意見書として提出する事が本会議でも可決されました。

請願項目1つ目は、年金の毎月支給を求めるもので、隔月支給を毎月に変更するとシステムの変更費用や事務費用が増加します。

2つ目は「マクロ経済スライド」による年金算出の廃止を求めるものです。この制度は、

2004年の税制改革の際に、将来の世代の負担を軽減し100年安心な年金制度とする為に制定されたものです。しかし、デフレ下では発動すべきではないとの事で10年間凍結されていましたが、2015年に初めて発動されました。この時、物価上昇が2.7%だったにも関わらず、他の要因も加味され、年金は0.9%の上昇に留まり、実質的には年金の引き下げとなり、このままいくと支給額は10年間下がり続けるので、廃止の請願が出されたものです。長い目で見ると、年金制度を維持していく為には、支給年齢を引き上げるか、現役世代の負担を増やすか、支給額を下げるかなどの対策が必要で、その為の新制度でした。しかし、制定後10年間も使えなかった制度は、制度自体に問題があるという指摘もあります。

3つ目は、年金の最低支給額を定めるよう求めるものと、4点目は支給年齢をこれ以上引き上げないように求めるものです。どちらも、税負担等が増す可能性もある内容です。

年金制度については、生活保護制度も含めて抜本的な改正が必要であり、今回の請願は考えられる内容でした。

産業支援センターの新設について

現在、北上オフィスプラザ内には「基盤技術支援センター」があり、工業関係の計測器などの貸し出しを始めとする技術面での支援を行ってきました。

今回、このセンターに工業だけではなく商業、観光、農業などを総合的にサポートしていくようにする案が示されました。4月には農業専門の「農業支援センター」が開設しているので、農業の専門的なサポートはここでいい、6次産業化などの農業と他産業との連携は、この「産業支援センター」で行うというものです。専門家もアドバイザーとして新規雇用し、来年度開設予定です。



産業支援センターを設置予定のオフィスプラザ

三宅やすし及び後援会の主な活動

7月15日 後援会通信No33発行	7月30日 北上130講演会	8月22日 広聴広報委員会・両部会
16日 国体デモスト・アティット参加	31日 市政報告会[相去交流センター]	25日 8月通常会議[初日]
19日 広聴広報委員会広聴部会	8月 2日 市内ライオン合同例会	〃 決算特別委員会
〃 西和賀町議会交流研修会	3日 視察受入対応[横手市議会]	28日 遠野ゾウ・スカラソ
22日 相去区長会研修会	4日 市民と議会をつなぐ会[黒北]	30-31日 一般質問
24日 相去町民運動会	5日 北上130協会理事会	9月 1日 教育民生常任委員会
25日 金ヶ崎町議会交流研修会	6日 障がい者支援施設・萩の江慰問	3日 北上平和フォーラム
26日 市民と議会をつなぐ会[専北]	8日 議会全員協議会	4日 都山流尺八晃雄会祝賀会
〃 後援会事務局会議	〃 北新ネット例会	6日 決算概要説明会
27日 市民と議会をつなぐ会[黒工]	10日 北上クワ組合十日会	7日 8月通常会議[最終日]・他
〃 視察受入対応[交野市議会]	〃 北上ライオン会報IT委員会	9日 北上130協会理事会
〃 川岸商店会研修・講師	15日 北上130平和の鐘を鳴らそう	10日 相去地区敬老会
28日 つなぐ会[青年4団体]	19日 国体デモスト・デイスカルの参加	13日 つなぐ会[婦人団体]
29日 市民と議会をつなぐ会[翔南]	21日 市民水泳大会	16日 つなぐ会[高齢者団体]



0120-00-3268
0197-63-2200



☆☆☆三宅やすし市政報告・出前講座のお知らせ☆☆☆

三宅やすしの市政報告は、パワーポイント(スライド)を使って説明し、大変わかりやすいと好評です。各種集会などへ出前講座として伺いますので、下記までお気軽にお問合せください。

[時間(10~50分位)やテーマはご相談に応じます]

- 皆様のご意見をお待ちしております。下記あてにFAX、メール等でお寄せください。(電話は留守電となっています) また、三宅やすしが制作、運営しているホームページでは活動状況を詳しく報告しています。

※この後援会通信は、身体障害者授産施設
「社会福祉法人自立更生会
北上アビリティセンター」
にて、ダイレクト印刷しています。
北上市二子町秋子沢214-7 TEL:0197-66-5400

バックナンバーの在庫については後援会へ

北上市議会議員 三宅やすし後援会
〒024-0051 岩手県北上市相去町相去28
電話:0197(67)1819 FAX:0197(67)4227
Email miyake12@gmail.com
URL <http://miyake.on.coocan.jp/>



キトリ

三宅やすし後援会入会申込書

三宅やすし後援会では会員を募集しております。
お知り合いの方などご紹介ください。会費は無料です。

ふりがな 氏名	住所	電話番号	性別	生年月日
	〒		男・女	
	〒		男・女	